**地域医療連携推進法人の参加法人間の病床融通について**

資料１-１

**１ 地域医療連携推進法人北河内メディカルネットワーク**

**【医療連携推進区域】**

　　　北河内二次医療圏（枚⽅市、守⼝市、寝屋川市、⼤東市、⾨真市、四條畷市、交野市）

**【病床融通の概要】**

〇病床融通の時期（予定）：令和7年度中

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 医療法人亀廣記念医学会  関西記念病院 | 学校法人関西医科大学  関西医科大学附属病院 |
| 現行 | 精神病床：261床  一般病床：　46床（休棟中） | 一般病床：751床（高度急性期 751） |

関西記念病院の一般病床46床を関西医科大学附属病院に融通

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 病床融通後 | 精神病床：261床（±０）  一般病床：　　0床**（△46）** | 高度急性期病床：797床**（＋46）** |

　※ 病床融通前後の病床数の増減 **±０**

**【病床融通による効果】**

解決

■ 感染症拡大時：感染症病床又は救急病床に充当

　（全体陰圧化対応及び動線完全分離、

　　　　　　　　　　　　　医療の状況により柔軟に運用）

■ 平時：がん診療及び救急病床に充当

≪医療連携推進区域の医療課題≫

〇 感染症病床の圏域北東部での不足

〇 高度急性期医療を支える病床の不足

**【地域医療連携推進評議会の意見等】**

　開催日：令和４年６月14日

　　　　意見等：異論なく了承

**【北河内保健医療協議会の意見等】**

　開催日：令和５年２月８日

　　　　意見等：異論なく了承

**２　地域医療連携推進法人淀川ヘルスケアネット**

**【医療連携推進区域】**

　　　大阪市二次医療圏（西部基本保健医療圏：福島区、此花区、西区、港区、大正区、西淀川区）

**【病床融通の概要】**

〇病床融通の時期（予定）：令和６年4月

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 医療法人彰療会  急性期：45床  回復期：37床  休棟中：36床 | | 社会医療法人愛仁会 |
| 大正病院附属  産婦人科クリニック | 大正病院 | 千船病院 |
| 現行 | 特例病床：12床 | 一般病床：118床  療養病床：55床 | 一般病床：292床  高度急性期：139床  急性期：153床 |

大正病院の一般病床16床を

千船病院に融通

大正病院の一般病床12床を

大正病院附属産婦人科クリニックに再編

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 病床  融通後 | 特例病床の減床：  12床（△12）  （通常）病床の設置：  12床（**＋12**） | 一般病床：90床（**△28**）  急性期：53床（＋8）  回復期：37床（±0）  休棟中： 0床（△36）  療養病床：55床 | 一般病床：308床**（＋16）**  高度急性期：134床（△5）  急性期：174床（＋21） |

※ 病床融通前後の病床数の増減 **-12**

　　　大正病院から千船病院への病床融通（16床）と併せて、大正病院附属産婦人科クリニックの特例病床（12床）を減少し、大正病院から（通常の）病床12床を移設する再編を実施。

**【病床融通による効果】**

■ 医師確保の課題から休棟となっている大正病院の病床から16床を千船病院産科病床へ融通することで、圏域内での周産期体制を堅持

■ ハイリスク分娩等の分担・連携を強化することで、

大正病院附属産婦人科クリニックの特例病床の適用を廃止し、大正病院から12床を再編。

≪医療連携推進区域の医療課題≫

　　産婦人科一次救急や、ハイリスク分娩等の周産期医療需要の増加に対し、地域周産期母子医療センターとしての千船病院の体制強化が必要。

解決

**【地域医療連携推進評議会の意見等】**

　開催日：令和４年10月11日

　意見等：異論なく了承

**【大阪市保健医療協議会の意見等】**

　開催日：令和５年２月１日

　意見等：異論なく了承